

太田フィルハーモニー交響楽団
第18回 定期演奏会

**ota
philharmonic
orchestra**

2015年11月1日(日)

開演14:00

笠懸野文化ホール・パル

主催：太田フィルハーモニー交響楽団

後援：太田市教育委員会

【ご挨拶】

本日は、太田フィルハーモニー交響楽団の第18回定期演奏会にお越し頂き大変ありがとうございます。

今日の演奏会は、リスト、フォーレ、ドボルザークと多彩なプログラムとなっています。指揮は、昨年春のファミリーコンサートでご指導をして頂いた水戸博之先生です。水戸先生は、今年4月からは東京混声合唱団の指揮者陣であるコンダクター・イン・レジデンスのお一人にもなられ、ご多忙のなかでのご指導でした。

今日演奏する3つの曲は、それぞれ異なる特徴があります。

最初に演奏するリストの「前奏曲」は、美しく壮大な曲ですが、「人生は死への前奏曲である」という内容の前奏曲だけあり、激しい部分の練習では、特に弦楽器が難しく、弾けるようになるまで時間がかかりました。2曲目のフォーレの「ペレアスとメリザンド」は、楽譜自体はすごく難しいというわけではないのですが、書かれた同タイトルの戯曲の「愛」や「苦悩」「死」などの音楽的な表現に苦労しました。

それに比べ、実はドボルザークの「交響曲第8番」は、意外と早い段階からそれらしく曲になった気がします。太田フィルとは相性は悪くなかったのかもしれませんが、3曲とも仕上がったところで、さて本番の出来は…?

ところで、太田フィルは、1998年7月の発足ですので、今年で17歳になりました。まだちょっと先のことですが、再来年は第20回演奏会、その翌年は20周年になります。

二十歳といえば、人間では節目の年ですので、太田フィルもなにか記念の演奏会でもやろうではないかという声もちらほらと上がってきています。こういうことを考えるのもアマチュアオーケストラの楽しみの一つでもあります。

さて、そろそろ演奏者も舞台袖でワクワク、ドキドキしている頃です。どんな演奏になることやら…。どうぞ、今日もお楽しみいただければ幸いです。

太田フィルハーモニー交響楽団
団長 大竹 実

【プロフィール】

指揮 水戸 博之



1988年北海道江別市出身。北海道立大麻高等学校を経て、東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻（指揮）及び同大学大学院指揮研究領域を卒業。これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、田代俊文、加納明洋、三河正典、ピアノを奥山優香、北島公彦、米田栄子、野田清隆、音楽理論を伊左治直の各氏に師事。

2007～2012年東京音楽大学給費特待奨学生。在学中、井上道義指揮者講習会にて優秀者に選出。同講習会主催リレーコンサートにてオーケストラアンサンブル金沢を指揮。2010年サントリーホール主催レインボウデビューコンサート21出演。2012年東総文化会館主催「東総の第九」公演にて、東京音楽大学シンフォニーオーケストラを指揮。

また東京混声合唱団の合唱指揮者として、NHK交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会に出演する。

現在、京都市ジュニアオーケストラ、及び八王子ユース弦楽アンサンブルアシスタントコンダクター。オーケストラ・トリプティーク常任指揮者。東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスを務める。

フランツ・リスト／交響詩《前奏曲》(レ・プレリュード)

ガブリエル・ユルバン・フォーレ／管弦楽組曲《ペレアスとメリザンド》

- I. 前奏曲
- II. 糸を紡ぐ女
- III. シシリエンヌ
- IV. メリザンドの死

アントニン・ドヴォルザーク／交響曲第8番ト長調Op.88

- 第1楽章 Allegro con brio
- 第2楽章 Adagio
- 第3楽章 Allegretto grazioso
- 第4楽章 Allegro ma non troppo

【曲目紹介】

リスト／交響詩《前奏曲》（レ・プレリュード）

リストは19世紀にハンガリーに生まれ、ドイツやオーストリアで活躍した作曲家で、音楽で詩や絵画を表現する「交響詩」というジャンルを確立しました。また「ピアノの魔術師」と呼ばれるほど優れたピアニストでもあり、常人では弾きこなせないような超絶技巧のピアノ曲を何曲も残しています。

交響詩「前奏曲」は1854年、リストが43歳の時に作曲されました。この曲は大きく分けると4部構成となっており、リストはこの曲で人生を表現したと言われていて（「人生は死への前奏曲である」というラマンティエヌという詩人の詩に基づき、リストが「前奏曲」という題名をつけたそうです）。みなさんも想像を膨らませながらお聞きください。

（文：高田）

第1部：人生の始まり（低音楽器のメロディからホルンの穏やかなメロディまで）

第2部：人生の嵐（弦楽器の細かい動きや金管楽器で激しい嵐を表現しています）

第3部：平穏な生活（ホルンのメロディから静かな田園風景を描きます）

第4部：人生の完成（金管のファンファーレを皮切りに壮大なクライマックスに向かいます）

フォーレ／管弦楽組曲《ペレアスとメリザンド》

フォーレは19世紀のフランスの作曲家です。管弦楽曲の他、「レクイエム」に代表される宗教音楽や室内楽も数多く残しています。

「ペレアスとメリザンド」はモーリス・メーテルリンクの戯曲（舞台作品）です。ストーリーは美しい女性メリザンドが、夫の弟ペレアスと恋に落ち、やがて愛を告白しますが、嫉妬に駆られたメリザンドの夫ゴローにペレアスは殺され、メリザンドもやがて亡くなってしまおうという悲劇的なお話です。

フォーレはこの戯曲のために作曲し、その中から5曲を選び組曲としました。今回は声楽が入っている「メリザンドの歌」を除く4曲を演奏します。

（文：高田）

前奏曲

劇の前に流れる音楽です。弦楽器でメリザンドの美しさを表現し、途中から曲の雰囲気が変わり、これから起こる不吉なものを予感させます。

糸を紡ぐ女

第3幕でメリザンドが糸を紡ぐシーンの曲です。弦楽器のリズミカルなメロディが糸車を表現し、オーボエでメリザンドの歌を奏でます。

シシリエンヌ

シチリアーナとも呼ばれています。第2幕でペレアスとメリザンドが戯れるシーンで使われます。フルートとハープで奏でられるメロディは美しく、非常に有名です。

メリザンドの死

第5幕（最終幕）の前奏曲です。重苦しい葬送行進曲のようなメロディで、メリザンドの死を予告しています。

ドヴォルザーク／交響曲第8番 ト長調

この交響曲第8番はドヴォルザークの故郷であるチェコ・ボヘミア的な旋律に溢れた曲なのですが、そうした曲の性格に反して「イギリス」という通称で呼ばれることがあります。

当時のドヴォルザークはスラブ舞曲集等の小品の評判が高い作曲家で、普段付き合いのあったドイツの出版社も小品の作曲を望んでいたのですが、彼が持ってきたのはこの交響曲、『こんな大作、たいして売れないよ…』ということで安く買い叩こうとしたのですが、この出版社の態度にドヴォルザークは怒ってしまい、結局イギリスの出版社から楽譜を出版することにしたのでした。そんな安直な理由で「イギリス」と呼ばれるようになった、ということのようです（ただ、1つ前の交響曲第7番はイギリスのオーケストラから頼まれて書いた等、もともとドヴォルザークとイギリスとの関係は深いものがありました）。

曲名という意味ではもう一つ。この曲、昔は「第4番」と呼ばれていました。今でこそ作曲家の意向どおり「8番目の交響曲」として扱われますが、2000年代になってもタイトルに「No.4」と書かれた楽譜を目にすることがあります。この番号付けも出版社の都合だったとか…。

このように作曲当時は出版社に見られてしまった曲ではあるのですが、現在まで続く人気曲としてクラシック界に君臨しています。メロディメーカーとしてのドヴォルザークの筆が冴えわたっているというところが大きいのですが、旋律の展開と曲の構成も見事な第1楽章・より自由で内省的な第2楽章・情熱的なワルツと素朴な舞曲が交互に現れる第3楽章・トランペットのファンファーレに導かれて始まる旋律が変奏曲的な展開を見せる第4楽章と、内容が多彩であることも魅力です。

（文：齋藤）

第18回定期演奏会 出演者

ヴァイオリン

内田 郁子
大野 仁子
狩野 幸子
小島 昭二
佐藤 英臣
◎ 菅原 陽子
多賀 春美
多賀谷 衿子
田中 路男
◎ 田中 容子
永山 友紀
福永 司
畦元 直大(賛助)
金澤 希美(賛助)
川井田 剛(賛助)
五位野 高吏(賛助)
小林 実(賛助)
坂口 昂介(賛助)
中屋 俊一(賛助)
吉野 玲子(賛助)

ヴィオラ

♪ 饗庭 裕子
饗庭 由貴
横塚 清恵
稲葉 満(賛助)
宇佐美 敬輔(賛助)
大塚 佑馬(賛助)
齋藤 裕夫(賛助)
玉川 敦(賛助)

チェロ

古作 眞佐子
♪ 齋藤 進午
田代 ひとみ
田中 庸夫
粒木 直美
松浦 静子
山口 美枝
丸橋 有紀(賛助)

コントラバス

内田 幸延
田代 克
♪ 日戸 正敏
梅澤 見晴(賛助)
小林 正幸(賛助)

フルート

上村 知道
小池 淳子
♪ 白石 真奈美

オーボエ

関口 史子
♪ 福島 彩

クラリネット

大塩 孝
桑原 淑江
高田 和久
♪ 和田 智加子

ファゴット

飯塚 勇太
♪ 菅沼 香澄

ホルン

♪ 秋場 裕美子
片山 智広
古原 尚貴
古川 聖子
星野 由樹

トランペット

安藤 清輝
遠藤 愛実
♪ 大竹 実
武田 倅奈

トロンボーン

跡部 圭一(賛助)
鈴木 義幸(賛助)
山上 有造(賛助)

チューバ

須藤 渉(賛助)

パーカッション

内田 智子
♪ 大川 智
河内 泉
武田 由美

ハープ

堀越 恭子(賛助)

指揮者

水戸 博之

◎ コンサートミストレス
♪ パートリーダー

※過去の演奏会

年月日	演奏会	場所	指揮者	演奏曲目
2013.11.17	第16回定期演奏会	笠懸野文化ホール バル	直井 大輔	ドヴォルザーク/交響曲第7番 ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第3番
2014.5.11	2014ファミリーコンサート	太田市新田文化会館 エアリスホール	水戸 博之	どこかで聴いたことがあるクラシック特集 グリーグ/ペールギュント組曲「朝」 ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界より」第4楽章、他
2014.11.16	第17回定期演奏会	笠懸野文化ホール バル	直井 大輔	ベルリオーズ/序曲「ローマの謝肉祭」 ハイドン/交響曲第100番「軍隊」 チャイコフスキー/交響曲第5番
2015.5.17	2015ファミリーコンサート	太田市新田文化会館 エアリスホール	喜古 恵理香	よく耳にするクラシック特集～ワルツやアリアや交響詩～ ヴェルディ/歌劇「椿姫」より「乾杯の歌」 シベリウス/交響詩「フィンランディア」 ヨハン・シュトラウス2世/美しく青きドナウ オッフェンバック/喜歌劇「天国と地獄」序曲、他

次回演奏会のお知らせ

日時：2016年5月15日(日)
14時開演(予定)

場所：太田市新田文化会館
エアリスホール

曲目：世界の舞曲シリーズ
ワルツ、タンゴ、バレエなど
喜歌劇「こうもり」より

*指揮者体験コーナーあります!

団員(楽器経験者)大募集!!

太田フィルでは一緒に音楽を楽しむ仲間を募集しています。
現在募集中のパートは、以下の通りです。

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、 コントラバス、トロンボーン

練習日：毎週金曜日 午後7時～10時
練習場所：葦川・休泊行政センター 他
申し込み：下記お問い合わせ先にご連絡下さい。
練習の見学大歓迎です!
団費2,000円/月、学生500円/月

♪練習の様子をブログで紹介しています。
下記のホームページから入れるので、のぞいてみてください♪

お問い合わせ先

電話：090-5819-1453 (梅沢)

URL：<http://otaphil.symphonic-net.com/>

E-mail：fwhv3343@nifty.com